

京丹後キャンパス周辺を散策!

-本学学生広報チームK-NOSBYが魅力をご紹介します-

地域と連携した京丹後キャンパス

「京丹後キャンパス地域連携センター」は、本学が教育・研究・社会貢献上の各種事業を実施することにより、京丹後市の企業や市民の方々と様々な分野で交流することを目的として、同市に設置された施設です。

本施設は、本学の役職員、学生の教育・研究や、研修、合宿などに利用することができます。



京丹後キャンパス地域連携センター

学生と教職員の公式広報チーム「K-NOSBY」広報プロジェクト

本学の学生と教職員で協力して、公式 Facebook など SNS での広報活動をメインに取り組んでいます。本学の情報、魅力に加えて、四季折々の京都の風景なども発信しています。

今回は、京丹後市網野町にある「京都工芸繊維大学京丹後キャンパス」の周辺を散策しました。地域との連携を強化しているキャンパスということで、この網野町の魅力にスポットを当て、ご紹介します。



京丹後鉄道網野町へ

嶋児神社

(京丹後キャンパスから徒歩で約25分、バスで約15分)

京丹後の網野町は「丹後風土記」に伝えられる浦島太郎伝説がのこる土地です。浦島太郎は後世につけられた名前、風土記では水江浦嶋子（みずのえのうらしまこ）となっており、嶋児神社で祀られています。海側のこの神社で浦島太郎と乙姫との出会いに思いをはせてみるのもいいかもしれません。



浦島太郎



浦島太郎が釣りをしたと伝わる海岸



琴引浜/琴引浜鳴き砂文化会館

(京丹後キャンパスから琴引浜へはバスで約25分、琴引浜鳴き砂文化会館へは約15分)

日本の渚百選にも選ばれています。この砂は、歩くとクッククという不思議な音がすることから「鳴き砂」と呼ばれています。

浜の近くにある「琴引浜鳴き砂文化会館」では、鳴き砂を鳴らす体験ができたり、琴引浜の微小貝の採集体験もできたりして、楽しかったです。



微小貝の採集体験中



琴引浜鳴き砂文化館から見える琴引浜

網野神社

(京丹後キャンパスから徒歩で約10分)

網野町で最も大きな神社で、嶋児神社と同様に水江浦嶋子が祀られています。

境内には珍しい狛犬があり、普通の狛犬の横に小さな狛犬がいて可愛いです。また、本学との関係の深い織物と養蚕の神様も祀られていたので、お参りました。



鳥居



狛犬



繭をイメージしたと思われる

離湖(はなれこ)

(京丹後キャンパスから徒歩で約20分)

湖の周囲が3.8km、最大水深が7mにおよぶ京都府最大の淡水湖です。この湖の内側に突き出した半島部分の離山には、離湖古墳と離湖公園があります。公園には、木陰で休息できるベンチやカメなどが息する池があり、とてもリラックスした素敵な時間を過ごせました。

桜の名所としても有名で、約300本が植えられ、湖面に映る満開の桜が幻想的だそうです。



離湖に映る離山